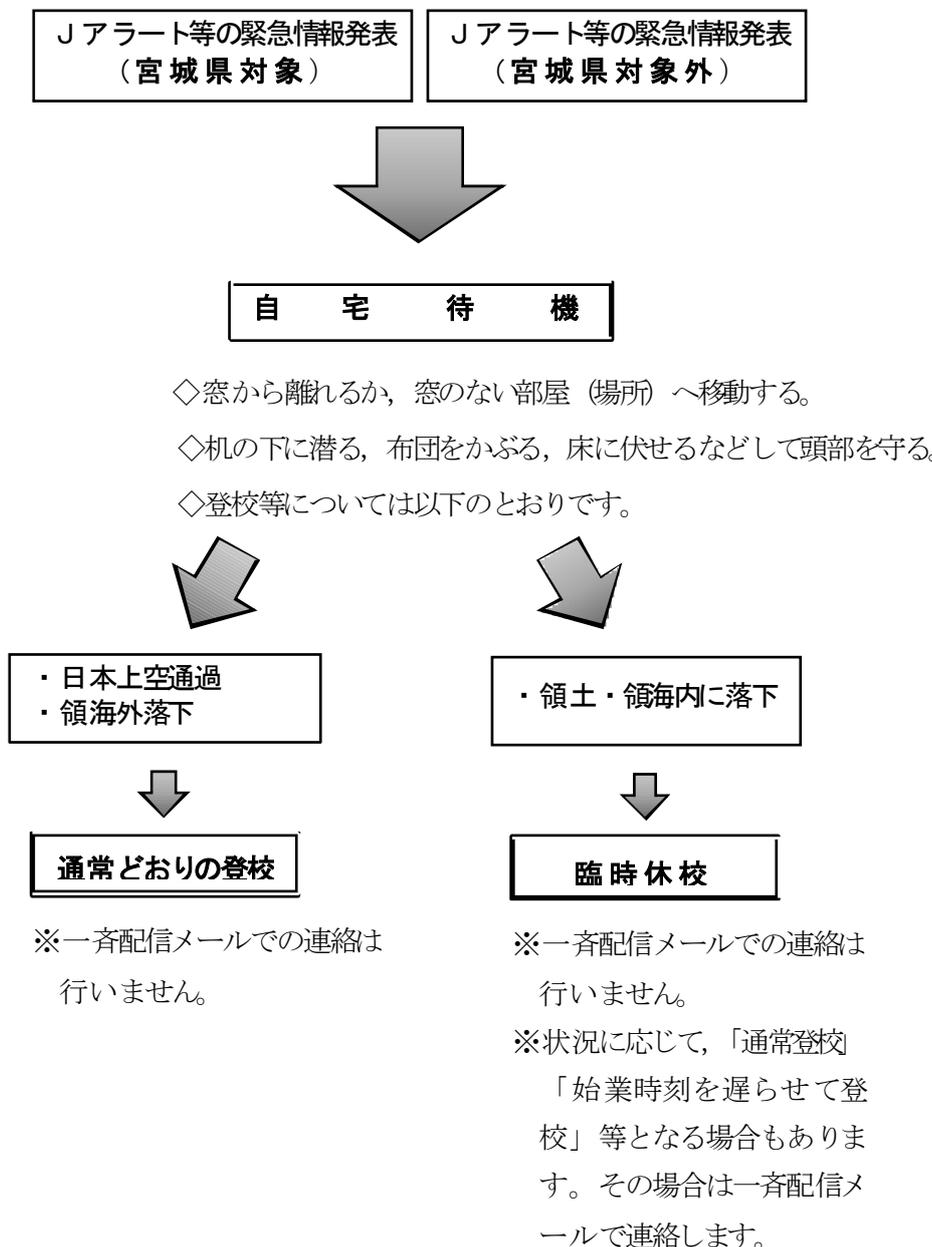


北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る本校の対応について

(平成29年9月版)

◎北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る本校の対応は以下のとおりです。

1 児童が自宅にいる場合・登校前



◆「通常どおりの登校」となった場合は、Jアラート等の緊急情報を活用し、安全を確認したうえで、登校させてください。（教職員の出勤に時間がかかり、学校をすぐに開けられない場合もありますので、お子さんと一緒に学校に来たり、学校に電話を掛けたりして確認をお願いします。）

◆Jアラート等の緊急情報が発表された場合も、テレビ・ラジオ・インターネット等により、情報の収集に努めるようお願いします。

2 児童が学校にいる場合

◇校庭など屋外にいるとき・・・素早く校舎等に避難する。

◇校舎内にいるとき・・・窓から離れて、教室の真ん中に寄り、机の下に潜るか、廊下や床に伏せるなどして頭部を守る。

◆ Jアラート等で安全が確認できるまで、児童は校内に待機させます。授業の打ち切り、下校の仕方（通常の下校、集団下校、引き渡し）については一斉配信メールでお知らせします。（停電等で一斉配信メールが使えない場合は、各家庭でJアラート等の緊急情報を活用し、安全を確認したうえで、学校まで迎えに来ていただきたいと思います。迎えに来ていただくまで、児童は学校で待たせます。）

3 児童の登下校中

◇近くにある建物や地下に避難し、窓から離れ、頭部を守る。（あらかじめ、各家庭で具体的に避難する建物を決めておくのがよいと思います。）

◇近くに建物がない場合は、物陰等に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

◇見慣れない物を見つけたときは、絶対触らずに大人の人に知らせる。

◇車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。

◆ 各家庭の近くに、登下校中の児童がいましたなら、避難の声掛け等をお願いします。

4 ミサイル等が落下した場合

◇屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋、または風上に避難する。

◇屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

◆ 弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従い、落ち着いて行動してください。

【参考】

・内閣官房 国民保護ポータルサイトHP

<http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/nkjalert.html>